

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	環日本海諸国語ⅡA(ロシア語)		
科目基礎情報							
科目番号	0013		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	"ПОЕХАЛИ!" ("Let's go!") 1-1、その他、別途指示する						
担当教員	山本 有希						
到達目標							
(1)アルファベットの読み書きを修得する (2)名詞等の性数変化の概念、動詞人称変化を理解する (3)単位認定には60点以上を必要とする							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	名詞の性別、格変化の概念及び動詞人称変化などの項目を活用した口頭表現がスムーズにできる。		名詞の性別、格変化の概念及び動詞人称変化などの項目を活用した口頭表現ができる。		名詞の性別、格変化の概念及び動詞人称変化などの項目を活用した口頭表現が満足にできない。		
評価項目2	上記文法事項を活用した口頭表現の発表がスムーズにできる。		上記文法事項を活用した口頭表現の発表ができる。		上記文法事項を活用した口頭表現の発表が満足にできない。		
評価項目3	上記文法事項を活用したテキストをスムーズに抑揚をつけて音読することができる。		上記文法事項を活用したテキストを音読することができる。		上記文法事項を活用したテキストを満足に音読することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	【授業の目標と概要】 (目標) ロシア語の音読や会話を中心に、広くロシア社会・文化等への関心を養う。 (概要) ロシア文字の発音、名詞・形容詞等の性数変化、動詞の現在人称変化を用いた表現を修得する						
授業の進め方・方法	教員単独による講義と演習						
注意点	(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者については、その評価を60点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画は、学生の理解度に応じて変更することがある						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	1)ガイダンス 2)オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(1)			
		2週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(2)			
		3週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(3)			
		4週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(4)			
		5週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(5)			
		6週	第1課	ロシア語の文字と発音			
		7週	第2課	あいさつ表現			
		8週	第3課	1)人称代名詞 2)場所を尋ねる表現			
	2ndQ	9週	第4課	動詞：第1人称変化			
		10週	第5課	動詞：第2人称変化			
		11週	第6課	人称代名詞の対格①			
		12週	第7課	人称代名詞の対格②			
		13週	第8課	名詞の複数形			
		14週	第9課	所有表現と生格			
		15週	期末試験	既習事項を確認する			
		16週	成績確認	1)試験返却・解説及び成績確認 2)夏休みの課題の確認			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0